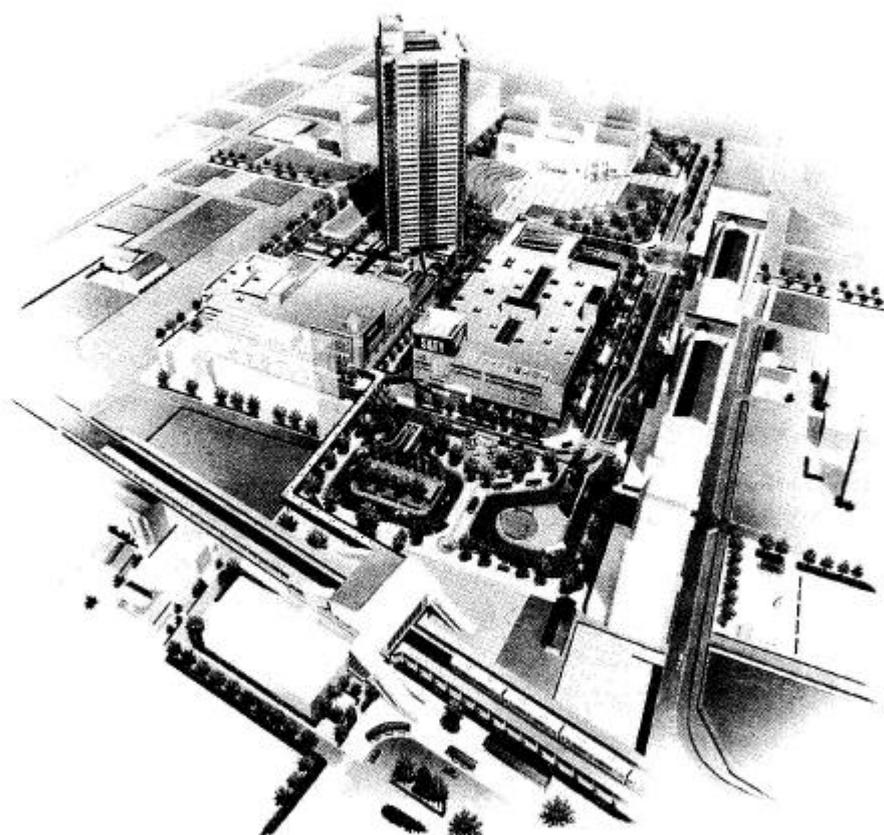


診 断 し が

1999年春号

No. 4



栗東バーディータウン全景

目 次

私の独立開業	北村 和 一	1
革新的小売業「経営理念と時流適合」	鐘 井 輝	2
栗東バーディータウンオープン	栗東町商工会	3
介護保険と介護ビジネス	竹 村 義 治	4
会員紹介		5
お知らせ		6

社団法人 中小企業診断協会 滋賀県支部

私の独立開業



北村 和 一

きたむらかずひと／昭和20年3月23日京都市生

京都市立洛陽工業高校機械科卒業
立命館大学理工学部機械工学科卒業
中華民国行政院僑務委員會立
中華函授学校結業（修了）

技術士（経営工学部門）1972年登録
中小企業診断士（工鉱業）1986年登録
（財）全日本能率連盟M/C 1999年認定

コンサルタントへの取り組み

私は1963年に京都の自動車部品メーカー（中小企業）に入社と同時に大学入学（2年間は夜学）し、大学卒業後も2年間（足かけ6年間・実質4年間）この企業に勤務致しました。この間、設計・生産管理・VE・IE等を担当致しました。学生時代から遠い将来は経営コンサルタントになることを決意しておりました。そこで、まず理工系大学卒で且つ、その専門分野での専門的実務経験7年を有することが受験資格であり、コンサルタントの国家試験である技術士本試験を史上最年少の27歳（1972年）で合格登録致しました。

又、1969年より20数年間、大手電機メーカー（一部上場会社）で、開発・設計・生産・販売・工務・購買・物流・省エネ・IE・VE・QC・EDPS化・工場建設・協力会社経営指導・海外調達等々およそ経営コンサルタントとして必要と考えられる実務経験を積極的に体験致しました。

この間の1986年に中小企業診断士（工鉱業）に合格登録し、これにより財務分析・財務体質の強化を得意分野化致しました。

一方、中国語（北京語）を独学でマスターして、1989年には華僑の子弟をその対象としている中華函授学校を修了致しました。

中華民国憲法を中心に民国六法・公司（会社）法・専利（特許）法等々の法律および国際貿易・企業経営管理等々の社会科学系と機械・電気・電脳・実用工芸・汽車修護・数学等の自然科学系さらに中華思想・中華文化・中国歴史等の人文科学系を専攻致しました。

プロ・コンとして活躍

その後、10年間プロの経営コンサルタント（プロ・コン）として、コンサルタント業界に入り、物の買い方・造り方・運び方・売り方という言葉で代表される購買業務・生産管理・物流管理・販売管理の領域の改善支援を通じて、企業組織体の収益改善と財務体質の改善に寄与してまいりました。

クライアントとしては、農協・生協・国内のメーカー（製薬・肥料・化学・金型・工作機械・輸送機・窯業・食品鉱業等）数10社と、海外のメーカー（台湾数社）を支援致しました。

M/C認定を機に独立開業

10年間のプロ・コンとしての活躍実績により通産省の委託団体である社団法人全日本能率連盟から権威ある“マネジメント・コンサルタント(M/C)”としての認定をうけ、この4月1日付官報に掲載されるはこびとなりました。これを機にこの度、独立開業致すことになりました。

今後は、得意分野である物の買い方・造り方・運び方・売り方の改善を通じて、収益改善に寄与し、又特異分野である中国語圏エリアで活躍致したく存じます。

コンサルティング成果を出すことはもちろんのことコンサルタントの職業倫理に徹して行きたいと決意を新たにしました次第です。

今後とも関係各位殿のご協力・ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

革新的小売業 一経営理念と時流適合一



鐘 井 輝

わが国の第二次世界大戦までの小売業の特徴は、近代的な百貨店の繁栄とその他の小売専門店の存在という図式が成り立っていたことでした。しかし戦後にはスーパーが登場して飛躍的な成長を遂げ、ビッグビジネスにまで育ちました。その秘密、原因は何だったのでしょうか。

アメリカ型商業の選択と経営理念の形成

1953年、東京青山に『紀ノ国屋』がわが国初のセルフサービス食料品店として開店しました。レジスター販売のソフトとして同サービスが取り入れられた経緯がありました。同時に、既にアメリカにおいて経験済みで今後わが国において発生することが予測される、近代小売業の7つのシナリオが示されました。

1. セルフサービス、2. ショーマンシップ、
3. ディスカウント、4. ラインロビング、
5. チェーン・オペレーション、6. ディセントラリゼーション、7. クレジットセリング

であり、アメリカ型商業を積極的に導入して消費市場に適應させていった意欲的な商人達の一群に後のスーパー経営に携わる人々が存在していたのです。

一方、1952年頃まで配給制や価格統制が行われていましたが、人々の困窮をよそに「ヤミ値」や「脱税」で利益を上げている商人に対して、雑誌『商業界』のコンサルタント達は「店は客のためにある」ことを力説して「正札販売」への切り替えを呼びかけました。また、『商業界』により1951年から「商店経営研究会」が箱根で開催され、戦後の混乱で忘れ去られていた、長く顧客に愛されていくべきである小売店の本来の姿が示されまし

た。商売における真実と正義の実現という道德観は多くの商人の共感を得たのでした。

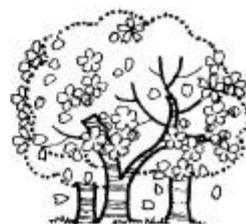
正札販売のルーツ、 「越後屋」呉服店の革新性と理念

「三越百貨店」の前身である「越後屋」は1673年、江戸本町一丁目に開業しました。世界で初めて現金掛値なしの正札販売を取り入れています。この販売方法を導入した理由は、呉服は種類が多くその善し悪しについて素人には区別が付きにくかったことがあります。誰にでも安心して買える方法を採用して商いを行ったのでした。

創業者三井高利は薄利多売・現金掛値なしの商法が、商人の正直な心掛けにささえられており、それがお客に支持されていることを強く認識して、もし不正直な心をおこせば『越後屋』は滅亡するであろうことを支配人に対して、示しています。その上で以下の革新的な商法を取り入れました。

1. 諸国商人売り、2. 店前売り、3. 切売り、
4. 一人一色の役目、5. 即座仕立て、
6. いろは付き引出分類、7. 引札配布、貸し傘、読み物執筆などの種々の広告宣伝です。

歴史を振り返り、革新的小売業の経営理念と実行された時流への適合を述べました。現在にも相通じる点が多いと感じるのは私一人ではないと考えます。会員の皆様はいかがお考えでしょうか。



大手企業から地元中小企業、行政が一体となって 新たな「まちづくり」に取り組んでいます。

～JR線栗東駅東側に「栗東パーティタウン」がグランドオープン～

栗東町商工会よりレポート

栗東パーティタウンの開発経過

JR線栗東駅東側の商業開発のうち、区画整理街区21、22、23の三街区は平成6年に事業化コンペが実施され、町行政指導のもとに開発が進められてきました。

その後、三街区のそれぞれのデベロッパーが個々に商業ビルやマンションの建設に取り組み、うち23街区については栗東サティとして昨春にオープンしましたが、その頃より、地域間競争に対応するためには「まちづくり」構想の主旨に立ち返り三街区がひとつの「まち」として一体的なプロモーション等の運営を行う必要があるとの気運が高まってきました。

そこで、栗東芸術文化会館「さくら」(24街区)の参画も得たうえで、昨年10月に、21から24街区のすべての事業主体とテナントを構成員とする「栗東駅前商業文化連絡協議会(幹事機関:栗東町商工会)」が設立され、今後のまち全体のプロモーション等を運営していくこととなりました。

そして、協議会では3月20日を栗東パーティタウンのグランドオープンの日と定めるとともにグランドオープン以降は、まちのコンセプトである「やすらぐまち」「きもちいいまち」「こころのまち」として地域住民に認知されるよう機能発揮に努めていくつもりです。

＝栗東パーティタウンの構成＝

- 21街区…複合商業施設「ウイングプラザ」
- 22街区…超高層マンション「ウイング・ビュー」
- 23街区…生活百貨店「栗東サティ」
- 24街区…芸術文化会館「さくら」

21、22、23街区間は空中回廊(ペDESTリアンデッキ)で結び、その下を全て歩行者街路にして、安全で快適に利用できる憩いの空間を提供しています。

ウイングプラザの概要

1. 地元商工会と大手商社との共同開発

「ウイングプラザ」は、栗東町商工会と伊藤忠

商事(株)の二者が共同デベロッパーとしてそれぞれの目的達成のために必要な床面を区分所有することを前提に開発を進めました。

商工会は9店が入居するテナント事業をはじめ地元小規模商業の集積と育成・振興の役割を担っており、伊藤忠商事(株)はそうした事業に相乗効果を与えるとともに町内商業活動を底上げし地域振興に寄与するため大型商業テナントの導入を図っています。

2. 県下初の支援促進法認定施設

「商工会及び商工会議所による小規模事業者の支援に関する法律(小規模事業者支援促進法)」は平成5年度に制定されましたが、栗東町商工会がウイングプラザ内で設置運営するスポーツ施設研修室、賃貸型共同店舗などは滋賀県内では同法初の認定施設となります。また、同法の認定施設が大手商社のテナントビルと共同運営する取組みは全国でも大変珍しい事例です。

3. 全国初の商工会直営ボウリング場

栗東町商工会はウイングプラザ内で施設全体への集客力と各種事業運営資源の調達を目的とした商業基盤施設としてスポーツ施設を設置運営しますが、この内容は、スポーツ・ボウリングを前面に打ち出したボウリング場であり、ボウリング場を商工会が直営することは全国でも初めての事例であり、また、公共性ととともにスポーツ性を前面に打ち出したボウリング場も他に例を見ない施設であるといえます。

4. 小規模商業サポートシステム

ウイングプラザ内に商工会テナントとして入居する中小店舗は単なる共同店舗ではなく「小規模商業対策モデル店舗」として位置付けし、商工会がサポートすることによって「正直な価格と真心こもった接客」という店舗コンセプトを実現していき、その効果を町内全体の中小商業振興に活かしていきます。



介護保険と介護ビジネス

竹村 義治

1年後の2000年4月より介護保険システムがよいよスタートされます。福祉とビジネスとの接点あるいは関わりについては多面的な視点が必要と思われます。高齢社会における「介護」について焦点をあててみました。

1. 介護保険制度の概要

制度導入までのスケジュールは、今秋以降に要介護認定を開始、次に介護報酬（単価）の告示、さらに保険料額が決定され来春より実施されます。

(1) 本制度のねらい

- 介護を社会全体で支える。
- 社会保険方式の採用。(給付と負担)
- 利用者が給付サービスを選択できる。
- 介護を医療保険と分離する。

(2) 医療保険と介護保険の比較

	医療保険	介護保険
保険給付要否	医師の診断	介護認定審査会
給付内容決定者	医師の診断	ケアプラン作成機関
サービスの提供	病院・診療所	在宅・施設
利用者負担額	2割又は3割	1割

(3) 保険制度の仕組み



(4) 市町村等の財源調整の仕組み

第1号保険料及び調整交付金	17%
第2号保険料	33%
国 25%	都道府県 12.5%
	市町村 12.5%
	50%

第1号保険料の6倍が当該市町村の給付財源の総額となる。

(5) 保険料の目安

介護費総額	一人当たり保険料（月額）	
4.0兆円		
保険料 1.8兆円	40歳～64歳 1.2兆円	健康保険組合 平均3,400円 政管健保組合 平均2,600円 国民健康保険 平均2,400円
公費 1.8兆円	65歳以上 0.6兆円	平均2,500円 市町村ごとに設定は自由
利用者負担 0.4兆円		

2. 介護ビジネス

シルバーマーケットは、介護保険市場分野で約4兆円、高齢者対象製品・サービス分野で約10兆円、2010年には約1.5倍の市場規模になると推計されています。介護マーケットはごく一部であるが、介護はマンパワーが中心となり生命関連のためノウハウが必要となります。要介護高齢者を対象としたシルバーサービスとして、①在宅介護サービス②施設介護サービス③福祉機器・要具の製造、販売等が主要なものとなっています。在宅分野での市場規模はショートステイ・デイサービスを筆頭に在宅介護・ホームヘルプ次に訪問看護・リハビリテーションと続いています。

介護保険は、介護のため新たな雇用創出や福祉機器の製造等約4兆円の市場を生み出すだけでなく、高齢者の個人消費の拡大も期待できると思われます。21世紀に向けて従来の土建型事業に代わる地域密着型の福祉事業として地域経済の活性化にも大きな可能性を内包しており福祉こそが時代の経済を開く起爆剤となることが期待されています。

会 員 紹 介

紹介内容 ①名前 ②生年月日 ③勤務先 ④登録部門 ⑤初年度登録 ⑥自己PR ⑦他公的資格名

 <p>①北村 秀一 ② S 27. 9. 15 生 ③ 守山商工会議所 ④ 商 業 ⑤ H 3 年</p> <p>⑥ 仕事柄、中小企業施策の具体的推進に一早くタッチできる機会に恵まれています。最近では、金融機関の貸付対策としての公的制度融資や中心市街地活性化のための街づくり法等がその例です。</p> <p>⑦ 英語検定試験</p>	 <p>①北村 公孝 ② S 25. 3. 9 生 ③ 松下電器産業㈱ ④ 商 業 ⑤ H 3 年</p>	 <p>①小堀 孝 ② S 35. 9. 27 生 ③ ㈱滋賀銀行 ④ 工 鉱 業 ⑤ H 3 年</p>
<p>①塩内 長俊 ② S 5. 9. 20 生 ③ — ④ 商 業 ⑤ S 49年</p> <p>⑥ 京都商工会議所に経営指導員として勤務していました。現在はリタイアして知人・親戚の経営相談にたずさわっている程度です。気学(方位学)を少しばかり勉強しています。</p> <p>⑦ 社会保険労務士</p>	 <p>①重森 完之 ② S 17. 10. 25 生 ③ ㈱滋賀銀行 ④ 商 業 ⑤ S 57年</p> <p>⑥ 企業は人と金が大切。人とはC.E.O経営トップの経営基本(理念・戦略・指導力)が自己の信念として確立実践している人。金とは儲けと金繰りがバランスしていることをいう。経営基本と財務戦略をしっかりチェックすることが不況脱出の近道である。〔経営基本・財務〕</p> <p>⑦ 証券アナリスト(検定会員) 宅地建物取引主任者 生涯学習2級インストラクター</p>	 <p>①島 潤 裕一 ② S 29. 11. 8 生 ③ ㈱アシスト ④ 工 鉱 業 ⑤ S 62年</p> <p>⑥ 生産管理・ISO認証取得支援 独創性とチャレンジ性で世界に通用する中小企業を!!</p> <p>⑦ JRCA ICO9000審査員補</p>
 <p>①清水 貞美 ② S 10. 7. 1 生 ③ ㈱滋賀県中小企業振興公社 ④ 商 業 ⑤ S 47年</p> <p>⑥ 中小企業行政の経験を活かしていきたい</p>	 <p>①園田 秀穂 ② S 18. 9. 23 生 ③ ダイキン福祉サービス株式会社 ④ 工 鉱 業 ⑤ S 50年</p> <p>⑥ ・企業内で技術者としてエレクトロニクスのハードソフトのマーケティング・開発・品質管理を幅広く担当してきました。 ・関係会社出向後は、マルチメディアやDTP(電子印刷)の新規事業の立上げ中です。 ・最近のテーマはITの活用をISO9000を切り口とした経営体質改善です。</p> <p>⑦ IQA主任監査員コース修了 JAGAT認証DTPエキスパート 商業英語B</p>	 <p>①竹村 弘 ② S 19. 5. 13 生 ③ ㈱滋賀銀行 ④ 商 業 ⑤ S 55年</p> <p>⑥ ・大型ビル・ショッピングセンターの運営参加、情報通信分野企業役員等々体験実績ある。 ・得意分野 経営基本戦略、財務戦略、販売戦略の立案指導</p>

会員紹介

 <p>① 竹村 義治 ② S25.1.2 生 ③ 財滋賀保健 研究センター ④ 商業 ⑤ H5年</p> <p>⑥ 医療業界を歩んできましたので医療・保健・福祉分野で活動していきたいと思っております。 ⑦ 臨床検査技師 作業環境測定士</p>	 <p>① 田中 清行 ② S24.3.12 生 ③ 滋賀銀行審査部 ④ 工鉦業・商業 ⑤ 工：S61年 商：H1</p> <p>⑥ 企業会計は経営者の心を写す鏡。経済文化センター、支店、審査部での経験を通じてそう思います。今は激動の時代です。経営者が元気を出し、自社の経営資源を再構築して有望な市場にチャレンジしていくことが大事です。それをお手伝いしていきたい。 ⑦ 宅地建物取引主任者</p>	 <p>① 田中 義郎 ② S16.6.23 生 ③ 有限会社 C³ ④ 工鉦業 ⑤ S50年</p> <p>⑥ マネジメントの基本は他の企業やまわりの人と違うことを考えることである。商業とか工業とか枠をはめるのは、これからの時代に合いません。もっと自由に。もっと柔軟に。これから考えなければならぬことは一杯あります。</p>
---	---	---

お知らせ

① 登録事務等（平成11年1月～2月）

平成10年度 登録事務申請受付

工鉦業	26名
商業	24名
情報	1名
(計)	51名

② 本部理事会

平成11年2月24日(木) 於：紙パルプ会館
山本支部長 出席

③ 滋賀県支部理事会

平成11年4月予定 於：滋賀ビル会議室

④ 滋賀県支部総会

平成11年5月22日(土) 於：滋賀ビル会議室

⑤ 受託事業報告

「滋賀県小売商業支援センター」より受託した「起業化ハンドブック」の原稿を提出しました。

⑥ 情報機器の設置について

平成10年度情報機器導入計画に基づき、支部にパソコンが導入されました。(H11.2.24)

パソコン本体 MTEC
OS Windows 98

⑦ 新入会員紹介（平成11年4月1日入会）

○氏名 ナカニ シノブ 仲西 貞之
昭和29年8月25日生
勤務先名 鐘道(株)
登録部門 商業

○氏名 イケウチ トシマサ 池内 敏恭
昭和41年3月1日生
勤務先名 東陶機器株式会社
登録部門 工鉦業



REGISTERED
MANAGEMENT
CONSULTANT

本会は、中小企業診断士相互の連携を緊密にし、資質の向上に努めるとともに、中小企業の振興と国民経済の健全な発展に寄与することを目的としています。

原稿募集案内

本誌の送付対象者は、支部会員の他、県・市町村等の関係諸機関、団体にも配布の予定ですので、会員各位の積極的な投稿と情報提供をよろしくお願い申し上げます。

● 原稿内容

調査・研究・講演・県内情報及び会員個人の趣味・旅行記などをお願いします。

● 原稿作成要領

横書き 1,400字程度 一行20字
会員名・登録部門・初登録年度
顔写真同封（後日返却します）

● 原稿締切り

平成11年8月末日（第5号10月1日発行予定）

● 原稿送付先

〒520-2313 野洲郡野洲町大篠原1950
竹村 義治
TEL/FAX (077) 587-0589

● 編集後記

今冬は、インフルエンザが猛威をふるい、私の周りでは、たくさんの方が寝こまれましたが、会員の皆様はいかがでしたでしょうか？ 会員紹介コーナーも今回で3回目となりますが会員と十分に連絡がとれないこともあり、今後は「自己紹介用紙」等がご返却されない場合は、中小企業診断協会への入会申込時の資料を使用させていただきますのでご了解をお願い申し上げます。

さて、春らんまん桜の季節となり、気分爽快といきたいところですが、厳しい景況の中では心の底からの充実感が今一つのような感じがします。気分一新、戸外で適度な運動をおすすめします。

診断しが

No.4

<1999年春号>

1999年4月1日発行

<発行所>

社団法人 中小企業診断協会
滋賀県支部

〒520-3232 滋賀県甲賀郡甲西町大字平松104番地の20
エクセル甲西3階（JR甲西駅前）
TEL (0748) 72-5173
FAX (0748) 72-5330